



エクスカーション 観光のご案内

A コース

屋島と栗林公園 コース



催行日	2024年	旅行代金	8,000円
	9月29日(日)	募集人数	40名様 (最少催行人員20名様)

9月29日(日)

JR高松駅 8:30 → 屋島(●屋島寺・源平の古戦場 壇ノ浦展望台) 10:00

● 昼食

● 栗林公園 10:30 → サンポート高松 12:30

食事	朝	昼	夕
	-	○	-

屋島
瀬戸内海国立公園にある海拔293メートルの半島形岩台で、その形状が屋根に似ていることから『屋島』と名づけられました。四季を通じてその展望は瀬戸内海随一といわれ、島々を行き交う船舶や讃岐平野が一望でき、眼下には壇ノ浦の古戦場が広がっています。

栗林公園
国指定特別名勝の広大な園内は、松平家5代にわたり、100年余の歳月を費やして完成した池泉回遊式大名庭園です。南庭と近代的に改修された北庭に分かれており、四季折々に風情ある美しい行まいを見せてくれます。
ミシュランの観光版(ガイド・ベール)の3つ星に選ばれました。

B コース

こんぴら参りと 銭形砂絵「寛永通宝」コース



催行日	2024年	旅行代金	9,000円
	9月30日(月)	募集人数	40名様 (最少催行人員20名様)

9月30日(月)

JR高松駅 8:30 → 琴平 さぬきうどんうち体験 9:30 → こんぴらさん参拝

(現地ガイドがご案内)

● 昼食

● 表参道散策 琴平 13:45

● 銭形砂絵「寛永通宝」 14:30 → JR観音寺駅 15:40 → 高松空港 16:40

■ 観音寺駅 16:09発岡山行き 特急しおかぜ22号
■ 高松空港 17:20発羽田行き ANA538

食事	朝	昼	夕
	-	○	-

中野うどん学校
讃岐名物のうどんづくりを体験します。職人が、粉を練るところから麺棒で伸ばし、茹でて食べるまで伝授してくれます。作ったうどんは個装して持ち帰れます。また、秘伝帳・卒業証書なども授与してくれます。

金刀比羅宮
象頭山の中腹にあり、785段の石段を登ると、本殿には御祭神大國主命が鎮座しています。江戸時代には金毘羅参りが盛んになり、今日に至るまで海の守護神として広く信仰を集めています。宝物館や表書院には貴重な文化財が数多くあります。

旧金毘羅大芝居(金丸座)
旧金毘羅大芝居(金丸座)は、天保6年に建てられた現存する日本最古の芝居小屋で、国の重要文化財に指定されています。毎年4月には「四国こんぴら歌舞伎大芝居」が開催され、四国路に春を告げる風物詩となっています。

銭形砂絵「寛永通宝」(琴弾公園山頂展望台)
琴弾公園の中にある寛永通宝をかたどった砂絵。東西122m、南北90m、周囲345mもある巨大な砂絵で、琴弾山山頂から見下ろすときれいな円形に見えます。銭形を見た人は健康で長生き、しかもお金にも不自由しないと言われていました。

C コース

小豆島日帰りコース



催行日	2024年	旅行代金	14,500円
	9月30日(月)	募集人数	40名様 (最少催行人員20名様)

9月30日(月)

高松港 8:20 → 土庄港 8:55 → 小豆島オリーブ公園 9:35 → 坂手 10:40

● 昼食

● 二十四の瞳映画村 11:10 → 坂手 12:00 → 土庄エンジェルロード 13:10

● 寒霞溪ロープウェイ乗り場 13:30 → 寒霞溪頂上駅 13:40 → 土庄エンジェルロード 15:00 → 高松港 15:25

● JR高松駅 16:35

食事	朝	昼	夕
	-	○	-

小豆島オリーブ公園
内海湾を見下ろす丘の上に、オリーブ畑やハーブガーデン、ギリシア風車など地中海沿岸のような風景が広がります。オリーブ栽培を紹介したオリーブ記念館、ハーブのリースやポプリ作りが楽しめるハーブクラフト館もございます。

二十四の瞳映画村
敷地には、昭和初期をイメージした民家や漁師の家などが軒を連ね、ノスタルジックな雰囲気が漂っています。

寒霞溪
風雨の侵食作用が造りあげた奇岩怪石が続き、瀬戸内海を眼下に見下ろす小豆島屈指の景勝地。春のツツジ、初夏の新緑も美しいが、特に溪谷を錦繡に染める秋の紅葉は格別です。

瀬戸内国際芸術祭作品「空の玉」
1300万年前の火山活動で誕生し悠久の歳月で形成された角礫岩の溪谷に飾られた見晴らし台の芸術作品です。自然、人間、アートと調和のとれた作品をお楽しみください。

エンジェルロード
1日に2回、干潮時間の前後に現れる砂の道は、恋人の聖地、天使の散歩道として大人気です。

D コース

四国八十八箇所の上がり 三ヶ寺遍路道 コース



催行日	2024年	旅行代金	9,000円
	9月30日(月)	募集人数	40名様 (最少催行人員20名様)

9月30日(月)

JR高松駅 8:30 → 八十八番大窪寺参拝 → へんろ資料館

● 昼食

● 八十七番長尾寺参拝 → 讃岐料理 郷屋敷

● 八十六番志度寺参拝 → JR高松駅 → 高松空港 16:20

■ 高松空港 17:20発羽田行き ANA538
■ 高松空港 17:00発羽田行き JAL484

食事	朝	昼	夕
	-	○	-

大窪寺
八十八箇所結願(けちがん)の霊場「大窪寺」。徳島県の県境に近い矢野山(標高782m)の東側中腹に位置します。縁起によると、養老元年に行基菩薩がこの地を訪れた際に、悪夢を感得し草庵を建て修行をしたといわれます。弘仁7年に、唐から帰国した弘法大師が、現在の奥の院近くの胎蔵ヶ峰という岩窟で、虚空蔵求聞持法を修法し堂宇を建立。等身大の薬師如来坐像を彫像し本尊とされました。また、唐の恵果阿闍梨より授かった三國(印度、唐、日本)に伝来の錫杖を納めて大窪寺と名づけ、結願の地と定めました。本堂西側にそそりたつ女体山には奥の院があります。大使が本尊に水を捧げるために独結で加持すると清水が湧き出たと伝えられます。その水を薬とともに服用し、ご利益を受ける人も少なくありません。

へんろ資料館
四国霊場八十八箇所結願寺への遍路道沿いに、「へんろ資料館」と「交流サロン」があります。霊場巡りの参拝者や観光客の名所として、また、地域住民との交流の場として利用されています。展示室には、曼荼羅図・納札・往来手形・道標などへんろに関する貴重な資料が展示されています。

長尾寺
明治維新以後、本坊は学校や警察、郡役所などの公共施設に提供された寺。地元では「長尾の観音さん」や「力餅・静御前得度の寺」として親しまれています。開創は聖徳太子という説もありますが、天平11年に行基菩薩の説が一般的。行基がこの地を歩いていてと道端に楊柳の霊夢を感じ、その木で聖観音菩薩を彫造し本尊として安置。法相宗を開基しました。

志度寺
香川県東部、志度湾に面して建立される志度寺。海に向こうはには、屋島や五剣山の稜線を望めます。開創は古く推古天皇33年(625) 四国霊場屈指の古刹です。海洋技能集団海人族の凡園子(おおしそのこ)が霊木を刻み、十一面観音(かんのん)像を彫り、精舎を建てたのが始まりと言われ、その後、藤原鎌足の息子、藤原不比等が妻の墓を建立し「志度道場」と名づけられました。その息子房前の時代、持統天皇7年(693)、行基とともに堂宇を拡張し、学問の道場として栄えました。能楽の作品「海士(あま)」の舞台としても語り継がれています。